

■第2次常総市都市計画マスタープラン 市民ワーキング（第3回）議事要旨

- 1 開催日時 令和5年6月11日（日）午前10時から
- 2 場 所 常総市役所議会棟2階 大会議室
- 3 議事要旨 テーマ1 常総市のまちづくりの考え方についての意見集約
テーマ2 地域の役割と将来像についての検討，地域の役割と地域づくり，
地域づくりの取組み

■石下東地区

- ・地域づくりのテーマとしては，石下庁舎・豊田城等の既存施設の活用と周辺機能の充実，農地・空き地の活用し，地域の価値を上げたい。
- ・交流の場の提供としては豊田城の活用としてプロジェクションマッピングやライトアップ等で，お城に来ていただければと思う。さらに武将フェスなど様々なイベントを実施し，市民の憩いの場として誇りに思える豊田城が活用できればいい。
- ・公益サービスの場の提供として，石下庁舎，地域交流センター，図書館や病院の建設，福祉センターをどのように活用するかを明確にしていけばいいのではないかな。
- ・健康福祉の場については，庁舎北側の空き地を医療施設・高齢者施設・産婦人科・小児科等に活用し，女性が地域から出ていかないように，自分達の地域に留まってもらえるようにしていけばいいのではないかな。
- ・教育の場の提供として，小中学校の統廃合，子どもたちが安全に通える配慮。活性の場の提供として，駐車場がついた公園の整備や1日遊べる公園，スケートボード・BMX等の公園ができればいいのではないかな。

■石下西地区

- ・農業と市民の憩い，健康福祉の場，商業の場，産業の場の5つを挙げ，集落・農業・商業・産業のバランスをうまく取りながら，共生する地域づくりをテーマとした。
- ・石下西地区は農業が常総市の中でも盛んなところで，さらにその中でも大規模に農業を行っている方と小規模で農業を行っている方がいる。大規模農業に関しては拡大の拡充，小規模農業の支援策としては，産直できるような場所の提供をイメージとして挙げた。
- ・憩いの場としては，石下の総合体育館を利用して交流の場の提供。石下運動公園内には使われていない山林等があるので，そこにバーベキュー施設や宿泊施設ができればいいのではないかな。併せて運動公園を利用し，健康づくりのイベントの開催。
- ・商業については県道高崎坂東線バイパスが開通したが，沿線でまだ空いている場所や土地があるので，商業施設の誘致等を拡大していきたい。
- ・産業に関しては，大生郷工業団地に隣接している古間木地区に高崎坂東線をはじめ，結城街道，アグリロードがあるので，優良企業の誘致をしていきたい。

■水海道北東地区

- ・当地区のテーマは道の駅と三妻駅周辺の活性化である。
- ・商業の場の提供について，こちらは道の駅周辺の活性化やホンダの技術を使い，道の駅と三妻駅

を繋ぐということをやっていきたいと考えた。

- ・生活の場の提供としては、やはり三妻駅の拡大や環境整備であり、コミュニティバスの運行はスクールバスとしても利用できると思う。
- ・観光の場の提供と農業の場の提供を組み合わせ、新鮮な野菜・果物・米などを提供し、のどかな風景を残せればという思いがある。
- ・市民の憩いとしての交流の場は公民館を有効活用する。さらに運動ができ、子どもたちが集えるような広い公園等を作っていただければいいのではないか。
- ・活性化の場としては、空き地・空き家を利用した活用。
- ・道の駅、アグリサイエンスバレーで働く人が何千人といるので、定着できる住宅地を作っていければと思う。

■水海道南東地区

- ・地域づくりのテーマとして「活気ある、若い人が住みたいと思えるまち」を目指せればと思う。
- ・公益サービスの場の提供としては、南東地区に役場・警察署・消防署があるので、市内の移動手段の充実が図れればと思う。グリーンスローモビリティなどの活用をしていければと考えている。
- ・商業の場の提供としては、南部には、大型の複合施設を誘致できるようなスペースがあるので、そこに誘致できればと考えている。また、国道 354 号の有料道路が今後無料化され、交通量が増えると思われるので、そこにも施設の誘致を進めていければと思う。空き家も多数あるので、空き家を利用したカフェなど展開できればいいのではないか。
- ・教育の場の提供として、常総市は外国籍の方の人口比率が高いので、そのような方々と交流の場を増やし、国際交流を活発にすることで若い世代で国際的な人材を発掘していく。さらに水海道小学校・中学校・水海道一高に留学支援などをしていただければ、さらに発展していける都市になっていくのではないか。
- ・生活の場の提供としては、街灯の増加や歩道の整備、さらに商業施設ができれば住宅地の開発と進んでいければと思っている。
- ・健康福祉の場の提供としては、市内にスポーツクラブのチームがあまりないので、子どもが参加できるようなチームを増やしたらいいのではないか。

■水海道北西地区

- ・「環境と産業の振興を軸とした地域づくりを進める」、「生活インフラの徹底整備・安全安心、豊富な語らいの場を作る」また、産業団地があるので、「千の産業、人・ものを結ぶリングの共有」というテーマ。
- ・本地区は国道 294 号の反対側に西幹線という道路が計画中的であることや、有料道路が今後無料化になっていくということもあり、道路事情が大きく変わることが考えられる。また、大生郷工業団地周辺にスマートインターチェンジができるという話も出ていた。
- ・観光スポットも多くあるので、観光の場の提供をまず挙げている。
- ・道路や歩道等の整備をし、観光地と結ぶ、工業団地の通勤をしやすくする。
- ・カーボンニュートラルが出ている。
- ・教育の場ということで、水海道西中学校がある。水海道地区西側の中学生が集まるところ。地元企業さんと連携し、何かやっていけたらいいのではないか。

・商業の場と活性化の場ということで、中学校や西部病院があり、その近くに豊岡の住宅地もあるので、新たなショッピングセンターなど、みんなが集まる場所があればと思う。

■水海道南西地区

・身近な生活圏を都市計画の中で位置づけ、そこからスタートと考えた。基本方針の流れが持続可能なまちづくりから始まり、そのうえで周りとの連携と書いているが、本地区ではそれが逆であり、身近な生活圏が大事で、地域づくりのテーマとしては「高望みはしない、身近な生活を大事に」である。

・生活の提供、生活を守ることが水海道南西地区の役割だと思っている。市民の憩い・交流の場の提供を挙げたが、あすなろの里やきぬ運動公園など、人が集まれるところがある。生活は大事だが、まちの交流の場、常総市全体を考えた時に、賑わいがあり、それをうまく地域の活性化に繋げていけるようなまちになるといい。

・また、あすなろの里やきぬ運動公園、菅生沼には自然が多く、アウトドア構想もあるが、市内外から人がやってくることを実現するためには、西幹線が大切ではないか。地域の活性化を考えた時に、西幹線の開通が肝になり、既に産業もあるため、これがまちづくりのスタートになるのではないかと期待している。

・地域や身近な生活を考えた時に、健康・福祉の場を提供し、新たに出産できる場所や、安心した子育て・医療の確保を維持し続けていただきたい。そのようなまちを、持続可能性という意味で進めていただきたいと思う。

(以上)